

CONTENTS



P9~12 医学協会が誇る
超音波検査士は現在30名。
小さながんの病変を発見する
精銳メンバーです!



当会の人間ドックとがん検診でのがん発見率は、
全国平均の1.4倍。高い発見率を支える超音波
検査士を育成するための取り組みを紹介します。

P17~20 悲観症の人も
楽観的な人も不意に立ち止まつてしまつた時に、背中を押してくれ
るメッセージ。



金さんがあなたに素敵な言葉をチョイスして
プレゼント。一休さん、日野原先生、加藤先生、大拙
さんたちのメッセージが勇気を与えてくれます。

P29~32 アクアーレ長岡の
古澤トレーナーの特技はフットサル。
現役北信越1部リーグ所属の
ユニフォームでの登場です!



後半のハードな「ながら運動」は運動の習
慣のない人には、かなりキツイ動きです。一
日、一種目から始めましょう!無理せずに!

T | r | i | m vol.254 2020 10・11・12月 ALL 36 PAGES

PAGE 01

本年50周年を迎えた岩室リハビリテーション病院の紹介を
1年間、職員のリレーレポートで特集してきましたが、
最終回では「私の病院への想い」をお届けします。
医学協会での高いがんの発見率(全国平均の1.4倍を誇ります)を
支えるスペシャリスト、超音波検査士育成のための
社内教育への取り組みの様子を紹介します。

PAGE 02

協会NOW
岩室リハビリテーション病院のこれから
51年目に向けて～感謝される病院に～



PAGE 03-08

岩室リハビリテーション病院「開院50周年」
特集・リレーレポート《最終回》
『私の岩室リハビリテーション病院への想い』

PAGE 09-12

医学協会の確かな安心(シリーズVol.24)
がん発見のための専門性と技術力の向上を目指す
医学協会の「超音波検査社内研修による
超音波検査士の育成」

PAGE 13-16

医学協会ホワイト500プロジェクト
9/23に開催された 第2回女性特有の健康課題セミナー
「子宮がんについて学ぶ」

PAGE 17-20

金さんの元気のできるメンタルヘルス講座(シリーズVol.10)
「心に響くメッセージ♡♡」

PAGE 21-24

検査部通信SPECIAL
隠れ脂肪肝が危ない!「FIB-4インデックス検査の導入」

PAGE 25-28

50歳からの生活習慣改善(栄養編Vol.13)
これならできそう!手軽に減塩対策

PAGE 29-32

FRESHUP(運動編)「かなりハードな!ながら運動」
自宅ができる、高負荷筋力トレーニング(後編)

PAGE 33-34

表紙の写真画「にいがたのキラキラガーデン」
いくとびあ食花のWINTERILLUMINATION
編集者からのメッセージ



協会NOW

「岩室リハビリテーション病院のこれから」 ～感謝される病院に～

岩室リハビリテーション病院 院長
(一社)新潟県労働衛生医学協会 副会長
矢澤 良光

岩室リハビリテーション病院は、回復期リハビリテーション病棟95床が脳疾患、骨折、廃用症候群などの急性期の治療が済んだ方を受け入れ、リハビリを集中的に行い、日常生活の活動能力を回復して在宅復帰ができるように支援をしています。一方、介護医療院95床は医療機能と生活支援機能の両方を持つ施設ですが、在宅や他の介護施設では対応が難しい方を中心に受け入れてています。

50年を経て引き継がれてきた今の病院は素晴らしいと思いますが、これからも利用者や家族の方々から本当に満足していただける“より良い”病院を目指していきたいと思っています。

“より良い”病院であるには①まず、職員の働きやすい環境が欠かせません。働きやすい病院であるには、経営が安定し安心して働き続けることができ、さらに、職員間のコミュニケーションが良く、気持ちよく働けることです。②経営の安定のためには入院患者と入所者、通院者などの確保に努めなければなりませんが、今後とも近隣の病院や施設、医療関係者と情報交換を密にしていくことです。そのために管理者や各職場の所属長、医療相談室など情報に接する立場の人がいろいろな機会を通して地域の医療機関と連携していくことが求められます。③患者・利用者から選んでもらえる“良い”病院にする。すべての職員ができるることは、患者・入所者・通院者やその家族に十分満足してもらえるように対応し、支援をしていくことに尽きるでしょう。

当院では長期に滞在してリハビリや看護、介護などを受ける方が大半です。患者・利用者の多くは慢性疾患を持った高齢者であり、病気が完全に治ることはありません。それぞれの職の専門技術に支えられながら、声掛けや細やかな説明をするなどして親切に接していくことが大事です。

私は、当院が地域の方々からある程度認めていただいている、と感じることが多々ありました。それは、病院の入院・入所者の家族の方から直接お褒めや感謝の言葉を頂戴したからです。回診中、病室で受け持ちでない患者様の奥様から「絶対に当院に入院させたかった。他にもいろいろと気を遣って対応してもらつてうれしい」また、入所時の説明をしていた時に息子様が「当院に入所させたかった。評判がよかつたので、なかなか入所できないと思った」というものでした。

以前から当院で毎月行われている業務改善検討会では、現場で働く職員が病院を良くするために具体的な改善案を提起して、それが実際に行動に移されて、素晴らしい成果が出ていると感じています。これはぜひ、今後も継続していきたいと思います。また、職場の雰囲気も良いと感じていますが、このまま維持したいものです。当院が現在の状態にとどまることなく、全職員でさらに信頼され感謝される病院を目指していきたいと思っています。

